

議会だより

旭二中学校舎及び屋内運動場(体育館)の概要

校舎

鉄筋コンクリート造3階建 延床面積5481㎡

普通教室24室 その他多目的ホール等

工事費12億5559万円

体育館

鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋建

延床面積1799㎡ 工事費4億4415万円



第4回定例会のあらまし

平成20年第4回定例会が、12月4日から12月19日までの16日間の会期で開かれました。

この定例会には、平成20年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、企業会計補正予算、条例の新規制定や一部改正など9議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

12月9・10日には、一般質問が行われ、10人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。最終日の19日には、委員会から1件の発議案が提出され、原案のとおり可決されました。その後、明智議長、平野副議長の辞職により選挙が行われ、新議長に向後和夫議員(5期・飯岡)、副議長に林一雄議員(3期・二)が選出され閉会いたしました。

就任のごあいさつ



議長 向後 和夫



副議長 林 一雄

市民の皆さまには、日ごろより市議会に対してご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

私も両名は12月の定例会において、議員各位のご推挙を賜り議長、副議長に就任いたしました。改めてその責任の重大さを認識しております。

ご承知のとおりわが国の政治・経済は大きな転換期にあり、社会全体が混沌としておりますが、本年は旭市にとって合併後4年を迎える区切りの年でございます。このような中、私たち議員は合併後のまちづくりのため、市当局と活発な議論を交わしながら旭市の建設と市民の一体化に努力してきたいところでございます。

今後市の均衡ある発展と、市民の皆さまが健やかで安心して住めるまちづくりのため、誠心誠意努力いたしますので、引き続き皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

おもな内容

- ★議案内容と審査結果……………P 2
- ★議会改革について……………P 3
- ★議会運営委員会委員の変更…P 3
- ★第4回定例会の日程……………P 3
- ★陳情の審査結果……………P 3
- ★議会のうごき……………P 3
- ★一般質問……………P 4～9
- ★常任委員会の審査……………P 9～10
- ★行政視察報告……………P 10～12

各会計補正予算、条例の 制定など9議案を可決・同意

議案の内容と審査結果

補正予算

◆議案第1号

平成20年度旭市一般会計補正予算の議決について

歳入歳出にそれぞれ1億900万円を追加し、予算の総額を264億600万円とするものです。

歳入の主な内容は、地方交付税に4252万円、国庫支出金に2140万2000円、県支出金に2009万4000円、寄付金に600万円、繰入金に1898万4000円を追加するものです。

歳出については、総務費に2313万6000円、民生費に6991万2000円、労働費に121万7000円、農林水産業費に2252万9000円、商工費に12万9000円、教育費に2844万7000円、諸支出金に2000万円を追加し、議会費から337万2000円、衛生費から3057万1000円、土木費から900万9000円、消防費から1341万8000円を減額す

るものです。

◆議案第2号

平成20年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について

歳入歳出にそれぞれ6827万9000円を追加し、予算の総額を34億4377万3000円とするものです。

◆議案第3号

平成20年度旭市国民宿舎事業会計補正予算の議決について

主なものは営業運転資金に充てるため、長期借入金として2000万円を計上するものです。

条例の制定・一部改正

◆議案第4号

旭市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について

(可決)

地方自治法施行令第167条の17の規定により、長期継続契約を締結することができる契約を定めるため、新たに条例を制定するものです。

◆議案第5号

旭市税条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

地方税法の改正に伴い、個人市民税における寄附金控除の対象となる団体への寄附金を指定するため、所要の改正を行うものです。

◆議案第6号

旭市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

産科医療補償制度の創設に伴い、分娩料を見直すため、所要の改正を行うものです。

◆議案第9号

旭市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

(可決)

産科医療補償制度の創設に伴い、健康保険法施行令第12月5日付けで公布されたことから、出産育児一時金について見直しを行うものです。

人事

◆議案第7号・第8号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

(同意)

現委員のうち2名が平成21年3月31日をもって任期満了となるため、後任の委員候補者を法務大臣に推薦するにあたり、議会の意見を求めるものです。

委員会提出議案

◆発議第1号

「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書の提出について

(可決)



議場での委員長報告

次の方々が全員賛成で同意されました。

再任 吉野 直子 氏(足川)

再任 宮野 作一 氏(琴田)

第4回定例会の日程

- 12月4日(木) (開会)
- ・会議録署名議員の指名
 - ・会期の決定
 - ・議案の上程
 - ・提案理由の説明並びに政務報告
 - ・議案の補足説明
- 12月8日(月)
- ・議案の質疑
- ◇追加日程
- ・議案の上程
 - ・提案理由の説明
 - ・議案の補足説明
 - ・議案の質疑
 - ・常任委員会へ議案・陳情を付託
- 12月9日(火)
- ・市政に関する一般質問
- 12月10日(水)
- ・市政に関する一般質問
- 12月12日(金)
- ・公営企業常任委員会
- 12月15日(月)
- ・建設経済常任委員会
- 12月16日(火)
- ・文教福祉常任委員会
- 12月17日(水)
- ・総務常任委員会
- 12月19日(金)
- ・常任委員長の議案・陳情報告
- 〈質疑・討論・採決〉
- ・事務報告
- ◇追加日程
- ・発議案の上程
 - ・提案理由の説明
 - ・議長辞職に伴う選挙
 - ・副議長辞職に伴う選挙
- 〈質疑・討論・採決〉 (閉会)

陳情の審査結果

第4回定例会では、陳情1件の審査が行われました。
審査の結果は次のとおりです。

区 分	件 名	審査結果
陳情第7号	「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情	採 択

議会改革について

昨年6月16日の全員協議会において、市民により開かれた議会の実現に向けて議員定数や議会運営などにつき、調査・研究をするために、議会改革検討委員会(委員長 神子功ほか7名)を設置した。

以後、6回の会議を経て昨年12月4日に、検討項目の議員定数、会派制度の導入、各種審議会への議員参画のあり方、常任委員会等行政視察のあり方、政務調査費のあり方、委員会会議録のインターネット配信、議会中継(本会議)インターネット配信、本会議速記者の有無の8項目について報告された。

今後は、この8項目について、更なる検討と具体的な手続き等について議論していくことになっています。

議会運営委員会 委員変更のお知らせ

平成20年第4回定例会で向後和夫委員長が議長に就任したことにより、高木武雄議員が委員に就任しました。新たな委員会構成は、次のとおりです。

委員長	嶋田 茂樹
副委員長	高木 武雄
委員	神子 功
委員	林 正一郎
委員	日下 昭治
委員	佐久間 茂樹
委員	柴田 徹也
委員	嶋田 哲純

議会のうごき

平成20年9月3日以降の議会のうごき

〈9月〉

- ・NHK公開録画「それいけ！民謡うた祭り」
- ・平成20年度旭市総合防災訓練
- ・平成20年度旭市敬老大会
- ・元気の出るミュージカル「今こそ男女が共にキラめく時」
- ・第3回あさひのまつり
- ・旭市社会福祉協議会おたっしや会
- 〈10月〉
- ・旭市名誉市民「飯島重雄氏」掲額式
- ・東総地区広域市町村圏事務組合議会9月定例会

- ・千葉県生涯大学校あさひ学友会第15回記念総会

- ・第4回旭市民チャリティーゴルフ大会
- ・いきいき旭・産業まつり2008

- ・旭中央病院剖検御協力者追悼式

- ・旭市消防友の会総会

- ・第70回全国都市問題会議

- ・第60回千葉県民体育大会卓球競技開始式

- ・第35回旭市雇用対策協議会ソフトボール大会
- ・第168回千葉県市議会議長会定例総会

- ・旭市蓼科高原山の家閉館式

- 〈11月〉
- ・平成20年度千葉県北総東部四市議会正副議長会研修会・定例会

- ・平成20年度旭市合同金婚式

- ・平成20年旭市消防団員の家族に対する感謝の集い

- ・旭市ふるさとまつり・ひかた2008
- ・万力Ⅱ期地区経営体育成基盤整備事業起工式典及び祝賀会

- ・旭中央病院開院55周年記念式典
- ・平成20年度旭市青少年意見発表大会

- ・第4回旭市生涯学習フェスティバル「文化講演会」

- ・第4回旭市社会福祉大会
- ・海上産業まつり「ふるさとふれあいフェスティバル」

- ・平成20年度旭市商工会優良従業員表彰式

- ・受賞者を称える会

【第4回定例会】

一般質問

市政に関する一般質問は12月9・10日に行われ、10人の議員が登壇しました。
主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

経営について 市長の考えは

中央病院

Q 中央病院の経営について、市長の考えは。

A 旭市にとって中央病院は、なくてはならない財産です。将来にわたって市民が安心できる医療体制を維持できるように今後とも市を挙げて全力で応援していきたい。

病院長の行政にとられない経営とは

Q 病院長の行政にとられない経営とは、どのようなことなのか。

A 経営形態の見直し等を通じた民間的経営手法の導入を図ることを促していますというのを私は行政にとられない病院経営と申し上げたこともあります。

経営検討委員会の設置目的は

Q 経営検討委員会を設置した目的は。



新本館建設工事起工式の様子

検討状況は

Q 検討委員会ですが、特区やI・H・Nの話はどこへいったのか。

A 革新的技術特区等に当てはめて、これからの中央病院を生かしたま

A 革新的技術特区を国が作る話を伺い、検討委員会を設置して、その検討をさせていただくような形になりました。

ちづくりをしようと、検討委員会で検討しています。

解説 革新的技術特区

科学技術の先進的研究に補助金等を重点的に配分し、規制も緩和する制度。平成20年度は「先端医療開発特区」が設けられた（最先端の再生医療、医薬品・医療機器の開発・実用化を促進することとし、がん研究、臨床研修の規制緩和などが想定されている）。

I・H・N（インテグレートッド・ヘルスケア・ネットワーク）

人口約数百万の広域医療圏で、様々な医療サービスを提供するために必要な機能を網羅的に持つ、地域住民向けの統合医療事業のこと。

公設民営化の是非は

Q 旭中央病院の公設民営化の是非は。

A I・H・Nの形が今の公設公営のままでもやれるのか、少し時間をいただいて、じっくりと取り組みさせていただきたいと考えています。

建設費の最終責任は

Q 委託先が経営破綻したとき、建設費など、莫大な借金の責任はどこになるのか。

A 公設民営化になっても、今のままの公設公営であっても、最終責任は市にあると考えます。

一般質問の 質問事項

発言議員と質問事項を紹介いたします。

◆高橋利彦議員

- 1 中央病院問題について
- 2 農業問題について

◆林七巳議員

- 1 旭中央病院の再整備について
- 2 病院の経営形態について
- 3 インターネット通信について
- 4 デジタル放送について

◆平野忠作議員

- 1 あさひ健康パークゴルフ場について
- 2 旭の産業まつりについて
- 3 農業振興策について

◆滑川公英議員

- 1 旭中央病院について
- 2 産業政策について

◆伊藤保議員

- 1 旭市クリーンセンターについて
- 2 旭市グリーンパークについて
- 3 新型インフルエンザの対応について
- 4 老人クラブについて

◆木内欽市議員

- 1 2009年度予算編成について
- 2 旭市山の家について
- 3 食彩の宿いおかについて
- 4 職員採用試験について
- 5 旭中央病院について

職員の動揺への対応は

Q 職員が今、民営化の問題と派遣の問題で動揺しています。職員が気持ちよく働ける環境を経営者として考えてもらいたいと思うが。

A 職員が気持ちよく働ける職場は非常に大事なことであり、その辺十分考慮しながら、対応については考えてい。

公立病院改革ガイドラインの経営の指標数値は

Q 旭中央病院の主な経営の指標数値は、ガイドラインの目標をクリアしているのか。

A 必須3項目について、ガイドラインの数値を現状クリアしています。
解説 必須3項目

經常収支比率・職員給与費対医業収益比率・病床利用率。公立病院改革プランを策定するに当たり、「経営の効率化」に関し経営指標に係る数値目標を設定するものとされ、必須3項目は必ず数値目標を設定するものとされている。

再編ネットワークも検討・調査を

Q 現在、経営形態の見直しによる検討・調整が行われていますが、再編ネットワーク化の問題も視野に入れ検討・調査をしなければと感じるが、市はどう考えているのか。

A 旭中央病院の経営形態等に関する検討委員会は、あくまでも旭市の中の話です。再編ネットワークについては、ガイドラインが示された段階で、既に3市1町の東総地域医療連携協議会で議題としています。それぞれの市で検討した段階で調整する予定です。

新病棟建設を急ぐ理由は

Q 建設資材などが短期間のあいだに値下がりしている中で、新病棟建設を急ぐ理由は。

A 新本館の建設は事業計画とおりのスケジュールで行っており、決して急いでいる認識はありません。

再整備事業の事業収支は大丈夫か

Q 10年先もかなりの収益が見込まれるとの説明を受け、賛成したがその説明については間違いないのか。

A 平成37年までの損益収支あるいは資金計画を示し、問題がないとの説明をしました。現在の経営状況は、上半期においては昨年に比べ大きな利益を計上しています。

資材費値下がりの影響は

Q 9月以降、鋼材が下がっている中、どのように考えているか。

A 現在、原油、鉄鋼等の資材費が下がる傾向にあります。工期が27か月に及ぶので、現状の値段がどのように反映されるかはなかなか明確にはなりません。しかし、入札の効果は期待できると考えています。

入札に反映の考えは

Q 少しでも条件をよくするため、入札に対して何らかのアピールはできないのか。

A 入札手続きに入っている中で、現時点では入札や積算をし直すことは難しいと考えています。

◆日下昭治議員

1 市役所南分館について
2 旭市山の家について

3 国の「定額給付金」について

◆島田和雄議員

1 旭中央病院の経営形態等に関する報告書について
2 公立病院改革ガイドラインについて

3 旭中央病院公設民営化の是非について

◆佐久間茂樹議員

1 景気対策について
2 食彩の宿いおかについて
3 刑部岬への進入路について
4 財産の管理について

◆伊藤房代議員

1 還付金、オレオレ詐欺について
2 旭中央病院について
3 単独生活者への配慮について
4 学童保育（放課後児童クラブ）について
5 妊婦健診について
6 点字ブロックの施行について

入札の延期は困難

Q この時期に入札するのは、発注者にとって不利ではないのか。

A 新本館の建設工事については、長い時間をかけ、設計・積算の作業を進めてきました。現在、11月11日に入札の公告を行い、入札の諸手続きに入っ



新本館建設に伴う市道付け替え工事

ており、12月19日を入札日と公表しています。市民に対して安定した医療サービスを提供していくためには、できるだけ早く再整備事業を仕上げ、医療基盤を強くすることが重要だと考えています。したがって、現時点で入札を延期することは困難だと考えています。

派遣の経理処理は

Q 派遣医師の収支の経理処理は。

A 収入伝票を検査して、それが歳入科目、その他医業収益の医師派遣収益へきちんと計上されていることを確認しており、計算処理は適正です。

新型インフルエンザの マニュアル作成を

保健

Q 新型インフルエンザへの敏速な対応ができるようにマニュアルを作れば、市民も安心すると思うのですが。

A 県は新型インフルエンザの警戒レベル区分により、**発熱外来**を設置し、感染拡大の防止を図ることになっています。発熱外来は、県の医療機関の位置付けで、市町村との協力関係をマニュアルで作っておくことが今の段階で検討されています。

解説 発熱外来

新型インフルエンザ発生時に、発熱患者を集約して診療することで、新型イン

フルエンザ患者とそれ以外の患者とを振り分けて診療することで両者の接触を最小限にし、感染拡大の防止と診療の効率化、混乱を最小限にすることを目的としている。

妊婦健診を14回まで無料に

Q 妊婦健診を14回まで無料にできないか。

A 本年度4月1日から公費負担を5回に拡大して実施しています。市単独での実施は、財政的に非常に困難です。現在、国において公費負担を14回に拡充することが検討されているので、これらの動向を見きわめていきたい。



つどいの広場で行われたお楽しみ会

老人クラブ数減の 原因は

福祉

Q 老人クラブの数が減っていますが、その原因は。

A この3年間で20クラブの減、会員数で1451人の減です。高齢者世代の意識が大きく変化しているため、会員の新規加入が図られず減少傾向に陥っている状況です。

南分館の 使用頻度は

庁舎管理

Q 南分館の主な使われ方は。

A 19年度の実績は、1階の会議室で延べ使用回数714回、延べ利用者数8712人です。主な利用目的は、確定申告、入札や見積もり合わせ、介護認定審査会、そのほか各種会議に利用しています。2階のつどいの広場の利用状況は、総利用組数は延べ4582組、1日当たり19組の利用です。

空き庁舎の有効活用を

Q 南分館の契約が切れるため、空き庁舎の有効活用を考えるべきだと思いますが、つどいの広場等について、ほかへ移す検討はしたのか。また、契約

はどのくらいの期間で行うのか。

A 今回、契約が切れることから、事前に施設の有効利用、他の公共施設でできる所があるのか検討しました。今後の契約は、ほかの公共施設の利用状況もあるので、利用等を勘案しながら金額も今の実勢価格でお願いし1年や2年の短いもので検討したい。

市役所にエレベーターを

Q 旭市役所では、エレベーターの施設がありません。身体不自由、または車いすでも2階・3階に行けるようにエレベーターの設置はできないか。

A 今の庁舎は物理的な制約もあり、古いため、いろいろな課題があります。新庁舎がどうなるのかということも絡んできますので、総合的に考えていきたい。

支所の点字ブロック設置計画は

Q 各支所いずれも点字ブロックがなく、視覚障害者が不自由ではないかと考えます。点字ブロック施工に対する計画はあるのか。

A 市民が多く訪れる公共施設なので、必要と考えています。今後いろいろな部分と併せて、計画的な整備を優先度を高くして検討したいと思っています。

利用状況は

最近の利用状況は。

Q 18年度237人、19年度301人、20年度は288人で、平成5年の2091人がピークでした。

A 市の補てん額は毎年300万円超

開設中における費用は。

Q 事業費用ですが、営業収益は18年度が144万円、19年度は194万円、20年度は175万円。営業費用は18年度が487万円、19年度は525万円、20年度は504万円で、それぞれ3



自然に囲まれた旭市山の家（長野県茅野市）

旭市山の家

30万円程度、市の補助金として不足額を補てんしています。

廃止の検討も

Q もうそろそろ廃止を視野に入れるべきでは。

A 早急に福祉協会に検討をお願いしたいと思っています。

赤字対策は

赤字の対策はどうなっているのか。

Q 収益対策ですが、まず送客契約を旅行代理店と結びたいと考えています。そのほか、ネットエージェント、いわゆるインターネットから申し込む形ですが、現在2社加入しています。今後、もう1社加入して、3社で運用を始めた

A と思います。また、レジャー関係の雑誌等へ掲載されるよう努力したいと思います。何よりも大切なのは情報を発信することで、ホームページを最大限活用していきたいと考えています。

焼却灰の運搬は

焼却灰の過積載をしていないか。

環境

A 指摘がありましたので、直ちに改善し、現在は法定で定めた積載量で運搬しています。

搬入業者の指導は

Q 旭市グリーンパークには一般の車両・産業廃棄物取り扱い業者は搬入できないと思うが、ある業者が鉄残渣を搬入しているが。

A 平成7年当時、県と事前協議をし、申請書を提出されたまま現在に至っているという経過が分かりました。その業者に対して再度、県当局に確認と申請手続きをするよう現在指導しています。

解説 鉄残渣

鉄くずを中間処理後、最終的に排出されるゴミ（かす）。

入場者の推移は

パークゴルフ場

Q 7月のオープンから11月までの5か月間の市内・市外の利用者数、また月決め会員の利用者数は。

A 入場者数は実人数で1万1004人です。内訳は、市内の方が9168人、市外の方が1836人です。市内の利用率は、83・3%となっています。月決め会員は231人の登録があります。平日の67%の利用が月決め会員によるものです。

刑部岬海岸への進入路は

Q 市民から刑部岬へ行く道がなくなつたと聞いています。刑部岬への進入路についてどのように把握しているのか。

A 現在、漁港区域から刑部岬海岸に歩いていける道はなく、堤防にある階段を利用するか、民地を借りて行くしかありません。既に県の漁港事務所には相談しており、案も出ていますので、通路に関しては、目途が立っています。

産業まつり等の入場者の動向は

産業

Q 秋のイベントである産業まつり等における各地域の入場者数、平成19年及び20年の数値は。

A いとおか港水産朝市が平成19年7000人から今年は8000人。いきいき旭・産業まつりが平成19年4万3000人から今年は4万8000人。ふるさとまつり・ひかたが平成19年2万8000人から今年は3万人。海上産業まつりが昨年と今年それぞれ5万1000人。

4会場で本年は13万7000人、昨年に比べ、約8000人多い入場者数でした。



進出が決まった農産物加工工場建設の様子

農産物加工工場の誘致は

Q

農産物加工工場の誘致について、加工企業の進出はあるのか。

A

冷凍食品のニチレイフーズの関連会社でベジポート有限責任事業組合が工業団地に進出してくれることが決まりました。地元野菜の調達も視野に入れた事業内容、事業展開が望まれています。また、できるだけ地元の雇用をお願いしていきたい。

これからも精いっぱい努力して、いい工場の誘致をしたいと考えています。

市内全域に 光ファイバー通信を

情 報

Q

インターネット通信について、まだ光通信が入っていない地域がありますが、どう考えているのか。

A

旭地域についてはN-TTの光ファイバー通信網の提供エリアになっています。海上、飯岡、干潟地域はADSLという、光ファイバー網ではないサービス提供地域になっています。

情報格差の解消は、市でも求めている、市内全域に光ファイバー通信サービスを早期に提供されるよう、N-TTなどの電気通信事業者に働きかけています。

デジタル放送電波障害の実態調査を

Q

デジタル放送における電波障害のアンケートをとって、どのくらい見えない所があるのか、調べていただきたい。

A

総務省は新たな難視実態調査を進めています。また、テレビ受信者の相談・受信調査・支援の拠点として、10月1日に総務省テレビ受信者支援センターを設置しています。市は広報・ホームページ等を活用しながら周知を図り、実態の把握をしていきたい。

旭市の 景気状況は

Q

市の現在の景気状況をどう把握しているのか。

経 済

A

市の経済状況指標はありませんが、税収の落ち込み等が懸念されています。

プレミアム付き商品券の発行は

Q

プレミアム付き商品券の発行状況は。

A

現在、商業振興連合会の努力により加盟店は536店舗に拡大し、商品券の発行の際は、その日に完売する状況です。今後も加盟店の拡大と通常販売の共通商品券の発行枚数を増やしていきたい。

市のバランスシート 作成は

財 政

Q

市の財産状況を簡単に分かりやすくするためにバランスシートを作成しては。

A

地方公共団体は、総務省が示した新地方行革指針などに基づき、四つの財務書類の作成と公表が要請されています。四つの財務書類とは、貸借対照表いわゆるバランスシート、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書です。

財務書類の公表は、平成20年度決算に基づいた数値を平成21年の秋を目途に公表することが求められており、現在準備を進めています。

知的財産の管理は

Q

環境に関する情報あるいは技術資料等、知的財産は現在までかなりの累積があるかと思えます。現在、どのようにになっているのか。

A

知的財産、いろいろな環境のデータあるいは地質調査等、現在残念ながら一括してデータを集約していません。今後の課題としてとらえています。

本年度の 執行状況は

Q

平成20年度予算の執行状況は。

A

平成20年度は8か月が経過したところですが、今年度に予定した大きな事業、防災無線の導入あるいは学校・道路等、順調に進展しています。

4年生から 6年生の学童保育を

教 育

Q

学童保育（放課後児童クラブ）は小学1年生から3年生までとなっています。4年生から6年生までに延長保育ができませんか。

A

既に検討を始めています。できるだけ早い段階で、全学校で実施できるように形をとっていききたいと考えています。

います。来年度は中央小学校で試験的に
行いたいと考えています。

職員採用の方法は

人事

Q 職員の採用試験について、応募者
数、採用人数、試験の日程は。

A 応募者数・採用人数ですが、一般
行政職（技術職含む）は申込者が
95人、採用予定者が6人です。資格免許
職（保健師、保育士、管理栄養士、社会
福祉士）は、申込者が27人、採用予定者
が2人です。消防職（初級）は申込者が
17人、採用予定者が5人です。

1次試験は9月21日に実施し、結果通
知を10月27日に発送しました。2次試験
は11月16日・22日に実施し、結果通知を
12月1日に発送しました。

採用の合否判定を早急に

Q 受けた人は1か月のあいだ、合否
の判定を待っています。もう少し
早く通知できれば、落ちた人は他の就職
活動もできます。この点に関して、どの
ように考えているのか。

A 1次試験の採点をできるだけ早く
していたできるように、東総地区
広域市町村圏事務組合それから千葉県市
町村総合事務組合へ申し入れをしたいと
考えています。

常任委員会の審査

公営企業常任委員会

平成20年12月12日(金)午前10時より本委
員会が開催され、付託された2議案の審
査を行いました。

議案第3号平成20年度旭市国民宿舎事
業会計補正予算の議決についての審査で
は、「今回の補正は、臨時職員の賃金の
増加ということであるが、臨時職員は何
人いるのか、また、どのようなローテー
ションで運用をしているのか。」との質
疑があり「臨時職員は32名おり、ローテ
ションは2週間単位で割り振りをして、
固定した形をとっていた。今後は、フロ
ントやレストランと兼務するような形で、
どこでも対応できるような体制をとって
いきたいと考えている。」との答弁があ
りました。

議案第6号旭市病院事業使用料及び手
数料条例の一部を改正する条例の制定に
ついての審査では、「産科医療補償制度
を運営する日本医療機能評価機構とは、
どのような組織なのか。」との質疑があ
り「病院の機能などを審査する機関で、
今回の保険制度の窓口となっている。保
険制度は、病院に過失がある、ないに関
わらず、脳性麻痺が生じた子どもに補償
する制度である。現在、日本全国200
0以上の医療機関のうち、98・8%が、
この制度に加入をしている。」との答弁

建設経済常任委員会

12月15日(月)午前10時より本委員会が開
催され、付託された1議案及び陳情1件
の審査を行いました。

議案第1号平成20年度旭市一般会計補
正予算の議決についてのうち本委員会所

がありました。

その他質疑を尽くし審査の結果、2議
案とも全員賛成で原案のとおり可決すべ
きものと決しました。

委員会の審査終了後、旭中央病院附属
飯岡診療所の施設状況等を視察しました。



後草地区の通学路を視察する建設経済常任委員

文教福祉常任委員会

12月16日(火)午前10時より本委員会が開
催され、付託された3議案の審査を行
いました。

議案第9号旭市国民健康保険条例の一
部を改正する条例の制定についての審査
では、「条例には、上限を3万円とある
が、一律3万円の判断でよいのか。」と

管事項についての審査では、「農林水産
業費の農業活性化推進事業の中で、見本
市の商談会は、どのような内容で実施さ
れるのか。」との質疑があり「来年度の2
月20日に、いいおかユートピアセンタ
ーを会場として、食の産地紹介を計画して
いる。平成19年に、野菜を中心とした産
地紹介を実施した。今回は、米、水産物、
畜産や花なども含め、食を一同に集めて
の産地紹介を考えている。また、来てい
ただく方は、市内の飲食店を営んでいる
方、スーパー関係の方、あるいは学校給
食等の栄養士の方など、食を商売等で使っ
ている方々を考えている。」との答弁が
ありました。

審査の結果、全員賛成で原案のとおり
可決すべきものと決しました。

続いて、陳情第7号の「協同労働の協
同組合法（仮称）」の速やかな制定を求
める意見書に関する陳情についての審査
を行い、全員賛成で採択と決しました。

委員会の審査終了後、整備中の長熊ス
ポーツ公園と後草地区の通学路及び蛇園
地区の道路冠水箇所を視察しました。

総務常任委員会

12月17日(水)午前10時より本委員会が開催され、付託された3議案の審査を行いました。

議案第1号平成20年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「常備消防費の工事請負費に、携帯・IP電話位置情報通知システム設置工事とあるが、現在、消防署にかけてくる固定電話と携帯の比率はどのくらいか。また、システムには連動型と簡易型があるが、どの程度の差があるのか。」との質疑があり「本年11月末現在で、固定電話が1232件、携帯電話が393件、IP電話が82件であり、携帯電話の比率は、23%である。また、システムの差については、連動型は、電話を受けたのと同時に指令台に地図が表示されるもので、簡易型については、直接、指令台と連動していない分、時間がかかる。現在、共同指令センターを平成25年に運用開始する計画があり、高価な連動型よりも、あと4年間の利用から簡易型を考えている。」との答弁がありました。

その他質疑を尽くし審査の結果、3議案とも全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。



総務常任委員会審査の様子

委員会の審査終了後、旭市役所及び各支所や保健センター等におけるバリアフリーの整備状況を視察しました。

議会運営委員会

平成20年11月4日から6日の3日間、岡山県総社市、新見市、倉敷市の行政視察を行いました。

総社市では、合併後の議会改革と国民宿舎サンロード吉備路の経営状況について視察をしました。議会運営については、予算決算特別委員会が議長を除く全員で開かれている点と、一般質問の通告を議会初日の午後1時までに行っている点が違っていました。

また、平成15年にオープンした市営の国民宿舎「サンロード吉備路」は、国道バイパスに面し、1階部分の半分は道の駅的要素を有して効率よく利用されていました。客室稼働率は85%で、5年連続全国2位に位置付けられており、経営形態は指定管理者制度で、民間手法を取り入れた結果が現れていると思われました。

2日目の新見市では、電子投票等の視察をしました。電子投票は投票に関する機器等を実際に動かして体験し、操作は意外と簡単でした。経費は国等の選挙が電子投票の対象外のため人件費は今までと変わらないことから、大金を投じるメリットはあまりないと思いました。

3日目は倉敷市美観地区の視察を行いました。市はこの地区の景観を保存するために特別美観地区に指定し、さらに昭

行政視察報告



総社市役所前にて(議会運営委員会)

和54年に重要伝統的建造物保存地区として国の選定を受けました。現在、市は景観法に基づく景観条例として保存対策を講じて建物の改築・新築に対して補助金を出して、電線の地中化など景観そのものの保存は順調に行っている様子でしたが、建築規制等景観を守るためには地域住民の協力が不可欠と感じました。

総務常任委員会

10月8日から10日の3日間に渡り、合併後の新庁舎建設等に関して木津川市、淡路市等を行政視察しました。

1日目の木津川市は平成19年に3町で合併しました。新庁舎の建設は合併前に木津町役場の建て替え計画があり、合併協議中に着工して20年8月に完成した。庁舎は、免震構造。京都議定書に基づき環境に優しい庁舎を目指し、屋上に芝の植栽を施したり、室内の空調等に工夫がみられました。

2日目の淡路市は平成17年4月に5町で合併しました。庁舎は津名町役場として平成17年2月に完成。着工時が合併協議中だったこともあり、完成後は建設会社と5年間のリース契約をし、合併後に敷地と建物を国補助金・合併特例債で取得した。建物は、3階建てで簡易に建てられている印象だった。

その他、ふるさと納税制度の「淡路市



木津川市議場にて（総務常任委員会）

夢と未来への寄付金」では現在97件で532万9000円が寄せられ、小中学校の環境学習や街路灯・防犯灯の整備・市の木「さくら」の植栽事業などに活用している。

3日目は、神戸市の阪神淡路大震災記念「人と防災未来センター」を視察しました。防災未来館は阪神淡路大震災の模様や復興の姿などを展示しており、当時のニュースなどの映像を見ると、日常を襲った巨大地震の恐ろしさを感じました。

文教福祉常任委員会

10月28日から30日の3日間に渡り、長野県小諸市、茅野市、伊那市を行政視察しました。

1日目は、小諸市にある浅麓汚泥再生処理センターを視察しました。し尿と浄化槽汚泥、下水汚泥と生ごみを同時に高度処理し、発生したメタンガスを使い発電や硫安、堆肥として再資源化を図る施設でした。総事業費65億6000万円、再資源化を目指すことで国庫補助金24億3500万円の巨費を投じられました。

問題点は、機具、設備の多くが外国製で、修理、メンテナンス等に想像を絶する費用がかかる点や硫安、堆肥をつくるには電気料が年間1億円位かかり、却って電気を使うためCO2を余計発生させる懸念がある点でした。

最先端な資源循環型の施設を建設すると、維持管理費が大変な額になります。し尿処理施設の再整備が予定されている



障害者社会就労支援センター（伊那市）を視察する文教福祉常任委員

旭市がどのようなシステムを採用するか、考える必要があると感じました。

2日目は、茅野市、諏訪市、原村による一部事務組合の諏訪中央病院を視察しました。「あたたかな急性期病院」をスローガンに、心休まる病院を目指しており、最大の特徴は、ボランティアが様々な分野で患者をサポートしています。入院患者の話し相手をする人、世話をする人、庭の維持管理を手伝う人などが200人以上います。そのおかげでしょうか、手入れの行き届いた庭園があり、病院の皆さんの心を和ませているようでした。病室のどのベッドからも窓がある造り方をしており、人に優しい姿勢が強く感じられました。

3日目は、伊那市の社会福祉協議会が

運営する障害者社会就労支援センターを視察しました。市内に5か所あるセンターの一つで、30人ほどの障害者の方が明るく伸び伸びと作業されている姿を拝見しました。いろいろな障害者の方に気持ちよく働いてもらうためスタッフの熱心で愛情あふれる接し方を目の当たりにし、頭の下がる思いをしました。

建設経済常任委員会

10月14日から16日の3日間に渡り、北海道石狩市、白老町等を行政視察しました。

1日目の石狩市では、コミュニティビジネスモデル創出支援事業と農水産資源を活かした観光政策を視察しました。観光政策として、観光センター「ゆめぼーと」を平成17年にオープンさせ、特産物や新鮮な野菜の販売を行っています。また、市内では3か所の漁港で採れた魚介類を安く販売する朝市がありました。

その他、石狩鍋発祥の地として石狩鍋復活プロジェクトがありました。平成19年11月朝日新聞のアンケートで石狩鍋が日本一の鍋に選ばれるまでになり、現在では13店舗の協力を得て、石狩鍋を食べるツアー商品の販売、マスコミ・メディアを上手に活用して、多くの観光客が見込まれています。地域の課題やニーズに着目し、市民や市職員が知恵を出し合いビジネス的手法を取り入れており大変参考になりました。

2日目の白老町では、企業誘致の取り

組み状況を視察しました。白老町が経済産業省の企業立地に頑張る市町村20選に選定された第一の理由は町長のトップセールスです。札幌・東京など出張の際には必ず企業訪問の予定を組み、誘致活動の進捗状況を確認しながら訪問しています。

企業誘致を進める基本として、進出してくれる企業を大切にすることで、「企業は企業がつくってくれる」という言葉を肝に銘じて誘致活動をしているとのことでした。また、企業に町の担当者が頻繁に訪問し、販路開拓の手助けや情報収集など企業とのパイプ役をしており、大変参考になりました。

3日目は、函館市の朝市を視察しました。朝市は全国、外国から観光客が訪れる市場に発展しており、新鮮なイカやウ

二などが手ごろな値段で購入でき、周辺にはそれらの食材を使った食堂などが立ち並ぶ大規模な市場でした。

公営企業常任委員会

10月15日から17日の3日間に渡り、京都府福知山市、舞鶴市を視察しました。

福知山市では、全面改築した市立福知山市民病院の再整備した経緯と医師・看護師の確保について視察しました。再整備は、歴史のある古い病院で傷みが激しく、いろいろな対応もできないことから平成13年に基本設計に着手、その後、実施設計等を経て、総事業費約167億6千万円のうち起債約108億9千万円で、平成19年6月に完成した。免震構造と病院にクリーンエネルギーを有効利用することが主になっています。

医師・看護師の確保は、医師・看護宿舍と民間の住宅を借り上げた中で差額分を病院等で補てんしながら宿舍を確保しており、大学との連携、あるいは2年制の看護学校の併設により対応していました。7対1看護を現在取り入れている中で50床の空室は問題がないのかとの質問に、その方が医師、看護師の対応にリスクが少ないとのことでした。最後に、地下にある免震構造を拝見しました。

舞鶴市では、農業公園「舞鶴ふるるファーム」を視察しました。施設には、レストランや直売所、また、滞在型農園のクラインガルテンが17区画、日帰り農園が21区画あり平成18年度に完成した。運営主

体は、指定管理者「㈱農業法人ふるる」で、周辺集落から出資者を募り、その資本金をもとに地域の産物等に付加価値をつけて販売しています。また、場所は市内から30分以上かかる奥深い所に位置しているが、滞在型市民農園は100%の利用率、そしてレストランは、待ち時間が必要なほどの混雑で、好きなものが選べるバイキング形式と会員カードなどで遠方からの利用者も多くみられました。各市とも財政の厳しい中で、しっかりとした経営戦略のもとに運営がなされていると感じました。当市は、県より海上キャンプ場施設が委譲されることになっているので、舞鶴市の事例を有効活用できればと参考になりました。



市立福知山市民病院屋上ヘリポートにて（公営企業常任委員会）

編集後記

旭市は合併4年目を迎えます。

議会では、市民に開かれた議会、地方分権に対応した議会改革を目指し調整や検討をしております。現在、市民の皆様へ議会情報をお届けする最良の方法が議会、だよりです。

早いもので、議会、だより編集委員を担当してから1年が過ぎました。最初は大変戸惑いましたが、編集を通して自分自身も勉強になりました。

市民の皆様方に分かりやすく、忠実にお知らせすることが、私たちの責務・責任とっております。また、市民の皆様方に「読んでみたい」と言っていただけの議会、だより作成に努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

（編集委員・嶋田 哲純）

旭市議会だより編集委員会

委員長	林 七巳
副委員長	伊藤 房代
委員	木内 欽市
委員	嶋田 哲純
委員	伊藤 保

議会を傍聴しましょう

平成21年第1回定例会は3月2日(月)から行われます。

詳しくは議会事務局へ

☎ 62-5304 FAX 62-5384